

第384回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	7番 山田裕一	<p>1 少子化対策について 2005年3月に実施された内閣府による「少子化社会対策に関する子育て女性の意識調査」では、約7割が保育・教育費への補助、医療費補助、児童手当などの経済的支援を要望していることが分かった。 長野県下條村では、少子化対策の一環として、若者定住促進集合住宅建設として4階建てマンションを建設、約63平方メートルで駐車スペースが2台ついて家賃が民間アパートの約半額の3万6千円。この集合住宅には、若者で子どもがいるか、これから結婚する人に限って入居できる基準を設けている。これまでに10棟124戸のマンションを建てたが、20組ほどの夫婦が入居待ちの状態にあるという。また、平成16年度から中学生までの医療費を無料としており、下條村の出生率は2003～06年の平均で2.04人となっている。 市長は、本年度施政方針「4万人都市復活大作戦」の中で、子どもを生き育てやすい環境をつくり、「しあわせあふれるやさしいまちしろいし」を目指すことと、定住促進を推進する「いきいきとのびゆくまち」を提唱された。そこで、来年度予算編成が進むこの時期にあたり「特定不妊治療費助成事業」「乳幼児医療費助成事業」そして「新婚家庭家賃補助制度」「子育て世帯市営住宅優先入居制度」事業についてどのような実績と検証をされたのか伺う。</p> <p>2 幼児教育環境の充実について 幼稚園は、学校教育法の中で「義務教育およびその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。」と位置づけられている。また、幼稚園教育要領の中では、「健康」、「人間関係」、「環境」、「言葉」、「表現」の5領域が示されている。つまり、幼児教育環境の充実には、心身共に豊かな子を育て、社会性を身に付ける上で大変重要であることから以下の質問をする。</p> <p>(1) 平成22年度公立幼稚園入園希望者数と定員数について (2) 保育時間の延長について</p>	市長 市教育長
2	5番 沼倉啓介	<p>1 本市における公会計の整備の必要性について 益々厳しさを増す自治体財政において、今求められている事は市民の理解のうえに立った協働のエネルギーを活用した取り組みであります。 取りもなおさず、それらは本市の時価会計での数字を調理した情報の提供であると存じます。 それらのある意味充足するであろうところの新地方会計制度に準拠した公会計の整備の必要性についてのお考えをお示し下さい。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	12番 四 竈 英 夫	(1) 小規模集落排水事業への取り組み (2) 個人で設置する浄化設備に対する助成金の増額を行い、設置の推進を図る	
5	3番 水 落 孝 子	<p>1 障がい者福祉について 集中改革プラン・改訂版が示され、市民に質の高い行政サービスを提供するため、限られた財源を重点的・効率的に配分すると述べられています。また、一律に受益者負担を貫くことと政策的・政治的配慮のどちらが重視されるのかとの問いに、いちがいに言えない、その時その時の判断であるとも述べられました。 私は障がい者、高齢者にとって一律的な受益者負担はなじまないものと考えます。 そこで障がい者福祉についておたずねします。 (高齢者で要介護3~5の方も障がい者として含めて)</p> <p>(1) 障がい者福祉サービスの目的は何か 施設や自宅で、衣食住と介護を保障することではないのか</p> <p>(2) 障がいがあっても、周囲の人たちや社会参加を築くことへの支援が必要ではないのか。</p> <p>(1)(2)を踏まえて</p> <p>(3) 市民の願うバリアフリー化、移動支援の現状に対する所見</p> <p>(4) 今回の各種行政サービス利用者負担の見直しは、どれだけの「生きる希望を奪うもの」とお考えなのか。</p> <p>(5) 第五次白石市総合計画への反映について。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
6	4番 吉田貞子	<p>1 白石市行財政改革推進計画について（集中改革プラン）</p> <p>(1) 本年度で終了する集中改革プランを、どのように総括していますか。</p> <p>(2) 来年度からの集中改革プランについて、市民意見の聴取の手段は、どのようなものですか。</p> <p>(3) 市が料金として市民から負担いただいているものは、何項目ありますか。その中で今回見直しの対象となったものは何項目ですか。 今回条例案を含めて、条例改正を必要としない項目をいれた施設の使用料及び手数料等の見直しは何項目ですか。</p> <p>(4) 来年度からの集中改革プランは緊急的なものとしているが、何が緊急なのか。第五次総合計画と整合性を図る平成23年度でなく、平成22年度実施項目が多いのは何故か。</p> <p>(5) 施設等の利用料、各種手数料の公平性をはかるとはどのようなことか。</p> <p>(6) 指定管理者制度移行による、運営費削減効果についての見解を伺います。</p> <p>(7) 外郭団体等への関与の見直しは、どのように進めようとしていますか。</p> <p>(8) 各種行事、イベント等の統廃合、縮小、廃止の基準はどこにおいて進めようとしていますか。</p> <p>(9) 定員の適正管理と行政サービスの低下のバランスを、どのように図ろうとしていますか。</p> <p>(10) 人事評価制度導入以前と以後の定年前退職者の数をお知らせ下さい。</p> <p>(11) 施設の目的外利用の検討もあるか、また、施設の目的外利用をする場合の障壁となるのは、どのようなことか。</p> <p>(12) 既存委託業・業者の抜本の見直しの内容はどのようなものか。</p> <p>(13) 特別職報酬に対する所見</p>	市長
7	2番 管野恭子	<p>1 多胎妊婦健診の助成拡大について 本市の妊婦健診は現在14回まで無料となっているが、多胎妊婦の方々には諸リスクが高いため、健診回数が多くなっており、経済的負担も大きいものがある。よってこの方々への助成回数を増加させるべきであると考えが見解を伺う。</p> <p>2 幼稚園の3才児クラスの増設について 来年度の3才児入園申込み数が第一、第二両園で、定数を超え18名が入園できない状況にあるが、幼稚園保育の重要性からすれば3才児クラスの増設を検討すべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>3 歩道及び歩道環境の整備について 高齢に伴い、車から徒歩に転じる方々、健康増進のため、ウォーキングをされる方々、また、車イスを利用される方々、その他、通学、通勤等々歩道はさまざまな方に使用されているが、本市の歩道は決して通行しやすい所ばかりではなく、車イス通行の困難のみならず歩行も危険と思われる箇所等も多くある。諸視点から歩道及び歩道環境の総点検を実施し、整備を推進していくべきと考えるが、見解を伺う。</p>	市長 市長 市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	8番 安 齋 多実男	<p>1 白石市の観光施策 本年のポストデスティネーションキャンペーン、一昨年のプレDCを終えての本市の観光施策に対する問題とこれからの課題について、お伺いします。</p> <p>(1) DCを終えての、本市の今後の観光施策に重要な「ブランド」とは。また、継続のための次の「ブランド」と課題について。</p> <p>(2) DCを終えての観光客に接する、市民意識であるおもてなしの心の対応の問題と課題について。</p> <p>(3) 事業者、商店と観光施策の連携の問題と課題について。</p> <p>(4) 観光施策と、施設の整備について。</p> <p>(5) 観光施策と地産地消について。</p>	市 長
9	1番 沼 倉 昭 仁	<p>1 「地域医療再生計画」について 先月の新聞報道によれば、宮城県の医師の偏在傾向を解消し、仙南医療圏の体制を強化するため、宮城県が「地域医療再生計画」を策定したことが報じられた。</p> <p>この「計画」では、大河原の中核病院と刈田病院との機能分化・連携の強化を平成25年度をめどに実現することが明確に示されている。</p> <p>この「計画」策定の席には、唯一市町村を代表する委員として風間市長が参加していたことを考えれば、今回の「計画」で示された「ビジョン」は、今年6月の議会で示された「中核病院との関係は市町村合併と同様に誠実かつ慎重に取り組まなければならない」との市長の従来「答弁」と、大きな隔りがある内容であると言わざるを得ない。</p> <p>いつの時点でこのような検討が加えられたのか、また、その「計画」策定の席で、市長は、仙南医療圏の将来ビジョンについてどのような提言をしたのか、その経緯・内容の詳しい説明を求める。</p> <p>2 「病院改革プランと一般会計負担」について 昨年度、私が刈田病院の再生に向けて一般質問した答弁のなかで、風間市長は今後のことについては「病院改革プラン」に沿って対応をして行くとの方針を示され、構成市町で合計10億円の「特別繰り入れ」が実施された。</p> <p>「病院改革プラン」の現状は果たしてどうなのだろうか。先月の「広報しろいし11月号」によれば、平成20年度の経営状況として、患者数の推移、収益総額ともに、ますます厳しさを増す状況にあることが報告された。</p> <p>風間市長が関わった県の「再生計画」の下で、今年度末までの刈田病院の経営の見通し、すなわち、外来や入院患者数は今後どうなるのか、それによって医業収支の見通しはどうなるのか、その上で、本年度末に「特別繰り入れ」が再び繰り返されることがあるのか、どれくらいになると予想されるのか、納税者である市民・住民に明らかにすることが早急に求められているのではないのか、市長の説明を求める。</p>	市 長